

## 市民大学講座



大原 謙一郎さん



大谷 由里子さん



辛坊 治郎さん



島田 洋七さん

### 受講生募集中

6/17(日) 大原 謙一郎  
「地方の文化力と日本の再生」

6/30(土) 大谷 由里子  
「大谷流「ココロの元気」の作り方」

8/15(水) 島田 洋七  
「がばいばあちゃんの  
笑顔で生きんしゃい」

9/1(土) 辛坊 治郎  
～情報の正しい判断～  
「報道現場から」

いずれも午後1時30分から3時まで  
市民会館 (定員1018人)

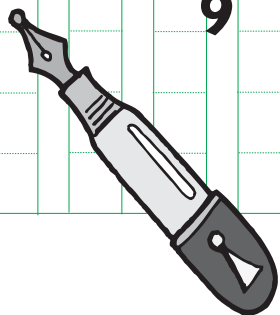
●チケット●  
一般2000円(4回分)、文化協会会員1500円(4回分)で市役所、各公民館で販売中

- ・1講座ごとの販売はありません
- ・定員になり次第、締め切ります

問い合わせ 市文化協会  
(☎②3491、総合文化センター内)

## あなたの作品を待っています

総社市文学選奨として、詩・短歌・俳句・川柳・小説・童話の6部門で作品を募集しています。



添付する ⑤原稿には部門と題名を記入し、氏名(筆名)は記入しない ⑥応募作品は、最終作品としてとらえます ⑦誤字・脱字、漢字や文法、事実上の間違いも審査の対象とします ⑧応募作品は、市教育委員会の出版物などで無償で使用できるものとします ⑨応募原稿は返却しません

**募集部門** ▽詩(現代詩に限る) ▽短歌 ▽俳句 ▽川柳 ▽小説(戯曲や映画、ラジオなどの脚本、随筆を含む) ▽童話

**応募資格** 市内に在住・在勤・在学の人。ただし、過去4年間で同一部門で2回入選した人(佳作は除く)は、その部門には応募できません

**応募規定** ①各部門とも未発表の創作作品(平成18年11月1日から平成19年10月31日までの同人誌な

どへの発表作品は応募可)。ただし、他の文学賞へ同時に応募することはできません ②用紙は、A4判400字詰の縦書原稿用紙を使用(パソコン原稿で応募する場合は、20字×20行の縦書きとする)

③各部門の応募点数と原稿枚数は、○詩3編 ○短歌10首 ○俳句10句 ○川柳10句 ○小説1編(原稿用紙100枚以内) ○童話1編(原稿用紙20枚以内) ④応募用紙に所定の事項を明記し、作品に

**応募締切日** 10月31日(水)

**賞** 各部門原則として入選1人、佳作若干名(入賞者には、賞状と賞品を贈ります)

**発表** 平成20年2月(入賞作品は、作品集に収録します)

**応募先・問い合わせ** 文化課文化振興係(☎②3491、〒719-1131 中央三丁目1-10 総合文化センター内「総社市文学選奨」係)

## 輝いている人

### 子どもたちの安全と安心を、サポートをするのが私の仕事



総社警察署の初代岡山県警察スクールサポーターとして活躍中

#### 佐野 幸一さん(泉)

4月から、総社警察署の初代「岡山県警察スクールサポーター」として活躍しているのが、佐野幸一さんだ。

創設されたばかりの岡山県警察スクールサポーター制度。その任務は、少年の非行防止活動、学校や児童などの安全確保対策、非行・犯罪被害防止教育の支援、地域安全情報などの把握と提供などが主なもの。「学校のサポートのように聞こえるのが、子どもたちのサポートをするのが私の仕事」と、佐野さんは言う。

佐野さんは今春、倉敷警察署を最後に定年退職。4月1日付で岡山県警から委嘱された。「この話があったとき、たいへんな仕事だが、42年間の経験を生かしてがんばろう」と決意した。「子どもの被害者を出さない。いじめや非行で子どもを加害者にさせない」。この仕事に対する佐野さんの考え方だ。そして、小学生の安全と、中学生の非行

防止に重点を置く。今後、子どもの目線に立った講話や、不審者に対する対応訓練の指導などに取り組むそうだ。子どもたちには、「世のなかには、いい人も悪い人もいることを教えていきたい」と言う。

「われわれが子どものころと比べ今は便利になったが、その代償として人間関係が疎外され、無関心になった」。インタビューの間、何度もこの「人間関係」という言葉が出た。学校・地域・関係機関が良好な人間関係を築き、安全・安心の活動の輪を広げていくことが大切だと強く訴える佐野さん。総社は、安全・安心に対する地域の意識が高く、熱心に取り組んでいると評価し、「自身の経験を地域のために役立てたい」とも語る。温厚な人柄と精悍なまなざしのなかに、スクールサポーターにかける意気込みが強く感じられた。